

技術磨き 1軍でプレー

会津北嶺高・富山捕手

ロッテ指名に意気込み



ドラフト会議でロッテに育成5位で指名され、篠原部長と握手を交わす富山選手(左)=26日、会津北嶺高

26日のプロ野球ドラフト会議で、千葉ロッテマリーンズから育成5位で指名された会津北嶺高の富山紘之進捕手(18)。同日、会津若松市の同校で福島民友新聞社の取材に「みんなに支えてもらったから、プロ野球選手という夢を諦めなかった。ありがとうと伝えたい」と感謝の言葉を口にした。

181センチ、70キロ。大阪市出身。小学1年生から野球を始め、大阪淀川リトル

リーグ、天王寺リトルシニアでプレーしてきた。会津への進学を選んだのは同校関係者に声をかけられたのがきっかけで「自分を一番必要としてくれるチームで野球がしたい」と決意。今夏の福島大会では攻守でチームをけん引し、初の4強に導いた。「身長が伸びて体も大きくなり、肩の強さなど自分の強みに磨きがかかった3年間だった」と高校野球生活を振り返った。